

果樹剪定枝・薪ストーブ活用推進事業の概要【令和4年度】

果樹栽培が盛んな豊丘村では、11月から3月にかけて、果樹の剪定作業後に大量の剪定枝が発生します。

剪定枝は炭にして農地の土壌改良に使われたり、お風呂の焚き付けなどにも利用されていますが、それは一部で全てが有効に利用されていないのが現状です。

一方、村内では最近、新築や増改築に合わせて薪ストーブを利用される方が増えてきていて、薪の需要が高まっています。

そこで、剪定枝の処分をお考えの農家さんと、剪定枝を薪ストーブの燃料として必要とする利用者さんを結び付け、資源の有効活用を実施することにしました。

資源の有効活用は国際社会の共通目標であるSDGs(持続可能な開発目標)にも掲げられており、剪定枝のエネルギー活用は、私たちが生活の中でできる、目標達成のための取り組みであるとともに、果樹園から剪定枝を運び出す作業を軽減できれば、剪定枝の処分に苦勞している農家支援にも繋がります。

「果樹剪定枝・薪ストーブ活用推進事業」に、多くの皆様の参加・ご協力をお願いします。

